

# マリン通信

6月号  
1406037

## 三津田店調剤

みなさんこんにちは。初めまして。呉商業高校を卒業して、今年の4

月に入社し、現在三津田店の調剤で働いている加瀬 柚巴です。入社して早くも1ヶ月が経ちました。新しい環境には慣れてきましたが、まだまだ分からないことばかりで戸惑う毎日です。患者様や先輩方にはたくさん迷惑をかけてしまっていますが、初心を忘れず頑張りますので、温かく見守ってください。よろしくお祈りします。さて、先ほど簡単に挨拶をさせていただきましたが、私の下の名前読めましたか?? **(ゆずは)**と読みます。「珍しい名前だね!」と言われる事が多いので、私の名前の由来について紹介させていただきます。両親に聞いたところ、「ゆず」の香りのように上品であり、そして花言葉の通り、「健康に育てほしい」という願いを込めてつけたそうです。そんな素敵な女性になれるように、新社会人として失敗を恐れず何事にもどんどんチャレンジして、成長していけたらなあ...と思っています!やる気だけは人一倍あるので!!(笑)そして、私は高校時代、**硬式テニス部**に所属していました。部活動と勉強の両立が目標だったので、放課後は部活動も頑張りながら、検定勉強にも取り組むという日々でした。部活動では人間関係などで上手くいかないこともありましたが、チーム全員でやっていく為には自分の意見ばかりを主張するのではなく、相手の意見を尊重することが大切だということ学びました。これは仕事をしていく上でも大切なことだと思っ



ています。今まで学んできたことが活かせるよう、常に笑顔でいることを心がけ、患者様に**「和み」**をお届けできるように頑張りますのでどうぞよろしくお願い致します(^o^)

## 三津田店

皆様、お元気でお過ごしでしょうか。三津田店の

平田です。5月の連休に九州の**有田陶器市**に行ってきました。朝早く着いたのに近い所の駐車場はすでにいっぱい!お昼前になると、どのお店も活気に満ち溢れていました。どんな掘り出し物があるかと、ワクワクしながらお店を一軒一軒見て回り、最初に見つけたのは、やっぱりコーヒーカップで、今回の目的もお気に入りのコーヒーカップを見つける事でした。色々見て回り、有田焼ではめずらしい、ほのぼのとした絵皿を見つけ、見ていると気持ちがほっこりとして、主人がとても気に入って、思わず買ってしまいました。朝8時頃から夕方まで見て回っていましたが、私はまだまだ歩き足らないくらい楽しかったです。



### 【有田焼の歴史】

17世紀初頭に李参平は、有田・泉山で磁器の原料となる陶石を発見し、我が国最初の磁器を焼きました。有田焼は、17世紀半ばから長崎の出島を通じてヨーロッパに大量に輸出され、王侯や貴族を魅了、ドイツのドレスデンのオーガスタ王は、有田焼を参考に自国内で焼かせるほどになったそうです。有田に開花した磁器は、400年の傍ら、若い作家や大小工房も意欲作を作り出しているそうです。



翌日は、**門司港レトロ**に立ち寄り、レトロ風建物を見たものの、門司港駅は改装中の為全容を見ることはできませんでした。「レトロハイマート」の31階に門司港レトロ展望室があり、景色を眺めながら、コーヒーを飲み、ゆっくりとした時間を楽しみました。